

令和5年度 大阪府立大冠高等学校 第3回 学校運営協議会（記録）

令和6年2月15日(木)14時
本校校長室（会議）

次第

1 配付資料の確認 等

☆運営協議会委員

	お名前	ご所属	出欠
1	西村 孝彦	関西外国語大学 英語国際学部 教授	出席
2	宮崎 義之	高槻市立 第十中学校 校長	出席
3	尾村 麻由美	コーチングラボ Coco Style 代表	出席
4	深串 有里	高槻市民生児童委員	出席
5	土井原 美智子	大冠高等学校 冠友会 会長	欠席
6	吉川 千晶	大冠高等学校 PTA 会長	出席

2 第1部 報告 進行：教頭

- 2-1 学校教育自己診断の結果について
- 2-2 質疑応答

<委員より>

- 1年の部活動加入率が上がった理由はなんですか。
A：1年学年団が人とつながることを訴えた結果。
この学年は中学1年でコロナ禍だったので、特に意識されていたようだ。
- バイトのポイントが下がっているのも良い傾向と感じられる。
- 満足度の高さや、ICT活用している点など、良い結果である。
- いじめに関して、91.2%と高い結果なので、学校に来やすい環境と感じられる。
- 生活規律において、生徒と保護者の差を質問したい。
A：根拠のある説明が難しい。家庭での保護者への伝わり方の差という仮説を想定。
- 子供が楽しい、というのが、学校の安全安心につながっている。

3 第2部 審議 進行：教頭

3-1 令和5年度学校評価（案）について（校長より）

- しゃべり場を中心に学校全体での充実感、達成感が今後に生かされる。
- ◎はその通り、○でも95%と目標値そのものが高い。◎に相当するぐらい。
- ボランティアには（大人も躊躇するけど）、もっと積極的に関わられたらと思われる。
朝の早朝の週一回のごみ拾いも、地域から愛される学校につながっている。
- 全体的に昨年度より上がっているのは先生方の指導の成果である。
- 国際交流の復活が素晴らしい。英検へのチャレンジの気持ちを持たせてほしい。
これらを経験した生徒の感想を共有するなどの工夫も一つかと思われる。
- チャレンジする雰囲気づくりを学校全体に広めてほしい。

3-2 令和6年度学校経営計画(案)について(校長より)

- 2(1)アの項目の数値目標が97%とあるが、そもそも高すぎる。
達成した場合、○ではなく◎であるべき。
- 進路探究が加わったことに共感できる。
考える機会からアウトプットにつなげることが良いことである。
- ノークラブデーについては、年に何回、対象は教員、生徒？
A：週に1回月曜日。体育館では場所の関係で別曜日に行っている部活動もある。
子どものことも、教員の働き方も両方である。
ストレスチェックで時間外の多い教員にストレスが高い傾向が出ている。

4 第3部 協議 進行：会長

4-1 協議委員から学校への提言

- 教員の働き方改革が問題となっているが、何か工夫は。
A：すべての部活動ではないが、部活動指導員制度を活用している。
長期休業中、文科系クラブの複数を当番の教員が付添する取組をするも
十分には効果が出ていない。
- 卒業生・大学生が教えるなどの制度ができれば、と思われる。
- 進路探究を付け加えた点で、アフターコロナで元に戻った今こそチャンスである。
- 人権への関心の高さの要因は？
A：本校の年1回の全学年人権行事の取組みの成果が大きいと思われる。
ほかにもジェンダーやSNSトラブルなどのグループワークも影響あったかと。
- 学習時間の増加は良い傾向であるが、アクセルとブレーキが大切。
教員の評価疲れにもならないように。
A：パフォーマンス課題が増え、各教科がテスト前に集中するため、総量と時期を
調整し、まんべんなく学習できるようにしたい。
- リーディングGIGAも含め、効果的な取組みをより発信する。
ごみ拾いなど、頑張っている姿を褒め合い、それをさらに広げていく。
- グローカル(友達、母校、地域など、周りを大事に)をキーワードに取組を進めて
ほしい。

5 諸連絡等

5-1 その他